



Cisco Business Edition 6000H/M のインストール後

- [Cisco Business Edition 6000H/M のインストール後 \(1 ページ\)](#)

Cisco Business Edition 6000H/M のインストール後

Cisco Business Edition 6000H/M のインストール後に、次の手順を実行します。

手順

ステップ1 [ライセンスアプリケーション \(1 ページ\)](#)

初回セットアップを実行して UC アプリケーションのライセンスを適用するには、次の手順を実行します。

ステップ2 [アプリケーションのロケールまたはパッチのインストール \(3 ページ\)](#)

UC アプリケーションの新しいロケールをインストールします。

ライセンスアプリケーション

Cisco Smart Licensing でライセンスされたアプリケーションは、Business Edition 7000 でプリロードされた Cisco Unified Communications Manager 12.5 に適用されます。*Unified Communications Manager 12.5 BE6000* 固有のライセンスの *Cisco Smart Licensing* と *Cisco Unified Communications Manager* ソリューションの概要に関する *Cisco Smart Software Licensing* を参照してください。このセクションをスキップしてください。

Product Authorization Keys (PAKs) でライセンスされたアプリケーションは、Business Edition 6000 でプリロードされた Cisco Unified Communications Manager 11.5 に適用されます。



(注) 11.x アプリケーションは、仮想化ソフトウェアバージョン 7.x のアプライアンスでプリロードされません。11.x アプリケーションのライセンス保管情報は、便利性的ためここで保管されません。

各アプリケーションにアクセスし、一部のアプリケーションの初期設定を実行し、ライセンスを適用するには、次の手順を実行します。

手順

- ステップ 1** 個々のアプリケーションの管理ポータルにアクセスするには、アプリケーションの IP アドレスに移動します。次の情報を考慮します。
- (任意) ページングサーバのインストールの場合：仮想マシンコンソールからアプリケーション URL に関する情報を収集します。デフォルトの初回のユーザ名とパスワードは、**admin** と **changeMe** です。
 - **Cisco Prime Collaboration Provisioning** : IP アドレスに移動し、ユーザ名として **globaladmin** を使用します。
 - **Cisco Prime Collaboration Assurance and Analytics Business** : IP アドレスに移動し、ユーザ名として **globaladmin** を使用します。
 - **Cisco Prime Collaboration Deployment** : IP アドレスに移動し、インストール時に指定した管理者アカウントとパスワードを使用します。詳細については、『[Cisco Prime Collaboration Deployment Administration Guide, Release 11.5\(2\) Admin Guide](#)』を参照してください。
- ステップ 2** アプリケーションライセンスの購入後に、シスコから製品認証キー (PAK) が郵送されるか、電子メールで送信されます。PAK を使用すると、シスコ製品ライセンス登録ポータル (www.cisco/go/license) を使用して特定のインストール用のライセンス キーを生成できます。Cisco Prime License Manager に直接情報を入力することもできます。
- ステップ 3** アプリケーション管理ポータルを使用してライセンスキーを適用します。インストールしたアプリケーションに固有のライセンス情報については、次の点を参照してください。
- **Cisco Prime Collaboration Provisioning** : Cisco Prime Collaboration Provisioning Standard Edition の使用にライセンスは不要です。必要に応じて Cisco Prime Collaboration Provisioning Advanced Edition へのアップグレードを購入できます。
 - **Cisco Prime Collaboration Assurance and Analytics** : Cisco Prime Collaboration Assurance Standard Edition の使用にライセンスは不要です。必要に応じて Cisco Prime Collaboration Assurance Advanced and Analytics または Advanced Edition へのアップグレードを購入できます。
 - **Cisco Prime Collaboration Deployment** : Cisco Prime Collaboration Deployment には Cisco Unified Communications Manager のライセンスが付与されているため、Cisco Prime Collaboration Deployment Edition の使用にライセンスは不要です。
 - **Paging Server** : Basic Paging Server の使用にライセンスは不要です。必要に応じて Advanced Edition へのアップグレードを購入できます。
 - **Unified Communications Manager、Cisco Unity Connection、および Cisco Emergency Responder:**

- (注) Cisco Prime License Manager (PLM) は、Cisco Unified Communications Manager および Cisco Unity Connection のインストールの一環として自動的にインストールされます。Unified Communications Manager パブリッシャとともにインストールされたインスタンスだけを使用して、すべてのライセンスを管理します。別の Prime License Manager インスタンスを使用して、Unified Communications Manager と Unity Connection のライセンスを別個に管理しないでください。詳細については、『Cisco Prime License Manager User Guide』 (<http://www.cisco.com/c/en/us/support/cloud-systems-management/prime-license-manager/products-user-guide-list.html>) を参照してください。または、データストア内のファイルを使用して、スタンドアロンの PLM インスタンスをインストールすることもできます。

アプリケーションのロケールまたはパッチのインストール

アプリケーション VM のロケールまたはパッチをインストールするには、次のタスクを完了します。



- (注)
- アプライアンスに付属するパッチは、製造の時点での最新のパッチです。より新しい更新プログラムを入手するには、<http://software.cisco.com> にアクセスしてください。
 - ロケールの詳細については、電話ロケールインストーラの Wiki (<http://docwiki.cisco.com/wiki/Cucm-phone-locale-installers>) を参照してください。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	仮想マシンとのバンドル ロケールまたはパッチ ISO の関連付け (4 ページ)	ロケールまたはパッチのインストーラを適切な VM に関連付けます。
ステップ 2	Unity Connection のサービスの停止 (4 ページ)	Cisco Unity Connection のロケールまたはパッチをインストールする場合は、ロケールまたはパッチをインストールする前にサービスを停止してください。
ステップ 3	新しいロケールまたはパッチのインストール (5 ページ)	VM にロケールまたはパッチをインストールします。

仮想マシンとのバンドル ロケールまたはパッチ ISO の関連付け

始める前に

次の手順を実行して、インストールプロセスを開始する前にロケールまたはパッチのイメージを適切なアプリケーション VM に関連付けます。

手順

-
- ステップ 1 VMware Embedded Host Client で、新しいロケールまたはパッチをインストールする仮想マシンを選択します。
 - ステップ 2 [編集 (Edit)] をクリックします。
 - ステップ 3 [仮想ハードウェア (Virtual Hardware)] タブで、[CD/DVD ドライブ (CD/DVD Drive)] を選択します。
 - ステップ 4 [CD/DVD ドライブ 1 (CD/DVD Drive 1)] ドロップダウン リストから、[データストア ISO ファイル (Datastore ISO File)] を選択します。
 - ステップ 5 データストアを [参照 (Browse)] して、適切なロケールまたはパッチ ISO ファイルを選択します。
 - ステップ 6 [選択 (Select)] をクリックします。
 - ステップ 7 [CD/DVD ドライブ 1 (CD/DVD Drive 1)] で、[ステータス (Status)] にある [電源オン時に接続 (Connect at power on)] チェック ボックスをオンにします。
 - ステップ 8 新しいロケールまたはパッチをインストールする VM ごとに、この手順を繰り返します。
-

Unity Connection のサービスの停止

Cisco Unity Connection の新しいロケールまたはパッチをインストールする場合は、次の手順を使用します。新しいロケールまたはパッチをインストールする前に、Unity Connection VM で動作しているサービスを停止する必要があります。

手順

-
- ステップ 1 Cisco Unity Connection Serviceability にログインします。
 - ステップ 2 [ツール (Tools)] > [サービスの管理 (Service Management)] を選択します。
 - ステップ 3 次のサービスを停止します。
 - 接続会話マネージャ
 - 接続ミキサー
-

新しいロケールまたはパッチのインストール

Business Edition アプライアンスに UC アプリケーションの新しいロケールまたはパッチをインストールするには、次の手順を使用します。



- (注)
- Cisco Unified Communications Manager の場合は、サブスクリバノードにインストールする前に、パブリッシャノードのロケールまたはパッチをインストールしてノードを再起動する必要があります。
 - Cisco Unified Communications Manager と Cisco Unity Connection のロケールを並行してインストールできます。

手順

- ステップ 1** Cisco Unified Communications OS の管理にログインします。
- ステップ 2** [ソフトウェア アップグレード (Software Upgrades)] > [インストール/アップグレード (Install/Upgrade)] の順に移動します。[Software Installation/Upgrade] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 3** [Source] ドロップダウン リスト ボックスから [DVD/CD] を選択します。
- ステップ 4** [次へ (Next)] をクリックします。
- ステップ 5** インストールする更新ファイルを選択し、[次へ (Next)] をクリックします。
- ステップ 6** ダウンロードが完了したら、[Next] をクリックします。
- ステップ 7** ロケールまたはパッチのインストール後、アプライアンスを再起動します。
 - a) VMware Embedded Host Client にログインします。
 - b) ロケールまたはパッチをインストールした VM を右クリックして、[ゲスト OS (Guest OS)] > [再起動 (Restart)] を選択します。

次のタスク

Cisco Business Edition 6000 アプライアンスをインストールした後は、ユーザとデバイスをプロビジョニングし、システムの機能を設定できます。次のガイドを参照してください。

- Cisco Prime Collaboration Provisioning ガイド

